

岳南会ニュース

第23号

発行
平成25年1月1日
長野県野沢北高等学校
TEL 0267 (62) 0020
岳南会
TEL・FAX 0267 (63) 6664
印刷 (株)佐久印刷所



借別そして感謝

岳南会会長
沼田 秀人 (46回)



同窓生の熱き思いに感謝

学校長

青柳 淳 (68回)

時代の変化はめまぐるしく、戦後、営々と築かれてきた日本の経済や社会も、不変ではないということを感じ知らされるものが多くなってきました。

そのような状況の中にあっても、歴史と伝統を背景として、野沢北の先輩から後輩への思いには特別なものがあり、この夏には、77回、78回卒業生の記念会があり、11月には58回卒業生の記念会が開催され、後輩たち

頌春

創立百拾貳年の歴史の重さを肌感じつつ、平成二十五年の新春を迎えました。

自主協賛等、常に変わらぬご協力を頂き、心からお礼を申し上げます。

私こと、一月の定時総会をもって、退任させて頂く事になりました。八十一才の人生の中で、その半生四十年間を、副会長、会長として、携ってきました。その誇りを胸に、後任の役員方が、会の活性化を期待する所大であります。今日まで、支えて頂いた会員諸兄に、心から感謝し、お礼を申し上げます。初参加の総会が、野沢の城山

館であった事、四十回の入学式及び卒業式への参列、第二運動場の設立、九十周年、百周年の式典の開催、殉国慰霊碑と同窓会館の建立、最近では、高校再編での残留、学有林の名義移転登記の完了等、想い出は盡きません。ライフワークとしたものは、略完了し、ほっとしている所です。就任早々の、甲子園出場の一大イベントは、忘れる事ができません。これからは岳南会員である事を誇りとして、会を見守ってまいります。

会の発展そして諸兄のご清栄を祈り、お別れの御挨拶と致します。ありがとうございます。

のために、多大な御寄付をいただいております。また、今年の夏は、特に暑かったわけですが、110周年記念事業の一環として、同窓会に設置していただいた教室の扇風機が十分威力を発揮し、生徒の学力向上に大変役立ちました。同窓生の皆様の熱き思いに、心から感謝申し上げます。

少子化と県の財政難は、高校のあり方に大きな変革を迫っております。現在のゼロ歳児の数をみますと、佐久地域で平成40年まで公立11校・私立2校体制を続けることは不可能です。このままで行きますと、公立高校はすべて1学年4学級以下の学校になってしまいます。関係者の皆様の大変な御尽力により、平成27年4月に佐久新校が発足する予定になっておりますが、

これだけでは、次の時代に対応する、佐久地区の新しい高校の枠組みが成立したとは言いがたい状況にあります。第2期高校再編、待たなす。

本校では、同窓会が中高一貫教育研究委員会を発足させ、中高一貫校について研究を進めておられます。佐久地区全体の高校のあり方を検討する中で、中高一貫校のことも位置づけられていかなければならないものと考えております。

そんなことを念頭に置きながらも、学校では、日々若者たちが活発に活動を展開しております。同窓生の皆様の御支援の下に、より魅力的な野沢北高校をめざして、教職員一同一層邁進してまいりたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

総会は、恒例の一月五日、佐久グランド・ホテルにて開催され、冒頭挨拶で沼田秀人会長は、会員の協賛金納入など、日頃の協力に感謝の後、今年を最後の務めとするとして、昭和四十九年、中澤陸次郎第二代会長就任の年に副会長になつて以来の四十年に亘る岳南会の歴史を語られ、その着実な歩みを懐古された。

続いて、高見澤正彦校長による挨拶では、百十周年記念に贈られた全教室への扇風機設置及び岳南57回生による吹奏楽班へのティンパニー寄贈への謝辞があり、進学状況及び班活動での成果が紹介された。

議事に入り、報告では、昨年四月の岳南会所有林の名義変更完了と中高一貫教育研究委員会の活動状況が説明された。議案では、会務報告と計画案及び会計決算と予算案が上程され、総会に先立って行なわれた代議員会議での議決に基づき、例年通りの内容で承認された。

記念講演は、昨秋、日本藝術院会員に選任された山本文彦氏(岳南51回生)によって、演題「私の幻想絵画について」、自らの絵画遍歴と各時期の自作解説がパワーポイントを活用して具体的になされ、好評を得た。

この後、母校吹奏楽班による演奏を聴き、百五十余名参加で盛会の新年懇親会で交歓した。

(副会長 高見澤俊雄 51回)

岳南ネットワーク

記憶に残る言葉雑感

長野県総務部長

岩崎 弘 (68回)

野沢北高校で過ごした私の3年間はまったく長閑で、背伸びをするでもなく、流れに抗うでもなく、もちろん大志を抱くでもない、ゆりかごの中にいる様な期間だったと感じています。それでも多くの先生方と接する中で、授業や教科にかかわること以外にもたくさん言葉をいただいた記憶があります。当時の先生方の年齢を超える今になって、ふと「先生がなぜ、高校生にあんなことを言ったのかな。」と思うことがあります。

野沢北高校で過ごした私の3年間はまったく長閑で、背伸びをするでもなく、流れに抗うでもなく、もちろん大志を抱くでもない、ゆりかごの中にいる様な期間だったと感じています。それでも多くの先生方と接する中で、授業や教科にかかわること以外にもたくさん言葉をいただいた記憶があります。当時の先生方の年齢を超える今になって、ふと「先生がなぜ、高校生にあんなことを言ったのかな。」と思うことがあります。

「馬の宮沢文四郎先生は「馬のような口を開けて笑う」と他人を揶揄しながら自らも前歯を見せて大きく笑う先生でした。ある日の授業で、「君たち北高の生徒はこの地域のエリートである。その自覚を持って励まなければいけない。」一方で「この地は周囲に競い合うものがないので、ライバル心、競争心に欠ける。」とおっしゃいました。前後の会話は記憶にありませんが、この時期は高度経済成長が続く、誰もが豊かな暮らしの実現が当たり前という未来を思い描いていました。私達もやや斜に構えた言葉を発しながらも、そんな希望の中で瞳を輝かせていたでしょう。そういう瞳を前に、「これからどこでどう活躍するにしても、自分の生まれ育ったこの土地、この学校に自信とプライドを持てよ。」「大変なことも、苦しいこともあるけれど、皆さんなら大丈夫。」と伝えなかったのだろうかと思っています。



また、「視野を広く持って、目先のことだけでなく世の中の動きを見るよ。」と。もし例をあげるなら、「中込学校は郷土の先輩が後輩たちのために学校まで造って、その太鼓楼に佐久から見た世界地図まで描いているよ。」と言いたかったのかも知れません。化学の塙先生は少々女性的なお姿で優しく話されるカメラ好きの

先生でした。「君たちは派閥なんぞを作ってはならない。」という言葉が記憶に残っています。これも「公平な目で物事を判断せよ。」「単純な仲間意識でなく本当に支え合えるような仲間になれ。」という教えだったのだと思っています。

現役を引く年代になって思い返すと、卒業からこれまで折々にこうした言葉がよみがえって、状況に応じた励ましになっていったように思います。翻って自分を省みると、他人が何かを感じ取ってくれるような言葉を持っているとは言えず、来し方に恥じ入るばかりです。これからそんな考えが身に付くわけではあ



剣道班 OB 会にて

東京岳南会 第52回総会ご案内

日時 2013年6月8日(土) 午後2時~
会場 日本教育会館・喜山倶楽部 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel 03-3262-7661
第一部(午後2時~) 総会・ミニ講演会
第二部(午後3時~5時) 懇親会
会費 7,000円(懇親会費・通信費など) 2,000円(学生) 新会員(当年高校卒業生)はご招待

当番幹事 75回(昭和54年卒) 85回(昭和64年卒) 95回(平成11年卒) 105回(平成21年卒)

連絡先 東京岳南会幹事長 小井戸大介 03-5651-3300 090-5442-0633

関西岳南会 25年度総会ご案内

日時 2013年4月13日(土) 午後4時~
会場 大阪弥生会館 大阪市北区芝田 2-4-53 Tel 06-6373-1841
第一部(午後4時~) 総会
第二部(午後4時半~7時) 講演会・懇親会 (講演会・懇親会は関西鈴蘭会と合同開催します)

懇親会費 5,000円

連絡先 関西学南会事務局 中井良策 090-4515-0770 E-mail roy2234nakai@ares.eonet.ne.jp

支部だより

桜井支部

六月十七日(日)午後六時より恒例の中桜井公会場で定期支部総会を開催しました。桜井支部の総会出席者数が毎年トップクラスなのは、会員の皆さんが歩いて十分以内というこの会場の利便性にもあると思います。

田中照久先生より母校の最近の様子を要点的に分かり易く説明して頂きました。続いて臼田宙治郎支部長から、昨年六月以来の二回の代議員会報告と本年度桜井支部からの北高入学者の紹介がありました。

桜井支部では、会員の発表を総会の目玉の一つに据えています。桜井の歴史、風土、生活、文化・伝統などがテーマになりますが、本年度は「石臼に学ぶ」桜井に水車の復活を目指してと題して、考古学に深い造詣をお持ちの六十六回卒業の臼田武正氏が発表されました。幼少の頃に近所で見えた水車が忘れ難い農村の原風景として強烈に目に焼き付いたことです。石臼の日本への伝来に始まり桜井における石臼利用の実際、石臼と水車との結びつきなどを興味深く話して頂きました。自然エネルギーを利用したスローライフの実現を目指して水車の復活を今後のライフワークにしたという熱い語り、水車のあ

る風景を知る参会の先輩諸氏からは応援の声が多く寄せられました。

いよいよお待ちかねの懇親会です。千五百円の会費で十分に飲んで食べて語れるよう工夫しています。参会の皆さんが率先して会場づくりや酒の爛など手伝ってくれます。宴は延々と十時近くまで続きます。後片付けも皆でやります。このような絆がある限り、当支部は存続・発展していくことと思います。

四十三回卒業生を頭に、九十六回生まで、実に三代に渡る会員の和氣藹々の様子を映像でお見せできないのが残念です。

(副支部長 金森輝雄 60回)

平成25年度 総会のご案内

期日 一月五日(土)

午後一時開会

場所 佐久グランドホテル二階

(佐久市中込三一九一六)

議事

会務・会計決算・予算

役員改選 他

記念行事

(第一部)

演題:『変わる世界と日本の選択』

大塚 隆一氏 (69回卒)

(読売新聞 編集委員)

(第二部) プラスバンド演奏

野沢北高校吹奏楽班

懇親会費 (一六時三十分)

懇親会費 5000円

77回卒業30周年記念同窓会

8月12日(日)我々77回生の卒業30周年記念同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。

卒業以来、ほとんど同窓会らしいものをしていないクラスも多く、最初はなかなか人数が集まらず心配しましたが、最終的には来賓の沼田岳南会長、青柳学校長、また恩師の旧3組担任の木村先生、5組担任の大池先生を含め、55名の参加を得て無事、同窓会を開催することが出来ました。また、記念事業としては過去2年間の流れに従い、来年度入学の生徒用の下足入れ1学年分を寄贈することとなりました。この場を借りて賛助金へのご協力をいただいた77回卒の同窓生の皆さんに感謝を申し上げます。

78回卒業30周年記念同窓会

第78回卒業生(昭和57年卒業)

は、平成24年8月11日に佐久グランドホテルで卒業30周年記念同窓会を開催しました。来賓として沼田秀人岳南会長、青柳淳学校長、恩師の川崎圭祐先生、高見澤俊雄先生、尾沼徳子先生、原順一先生、竹折得徳先生、木村清志先生、渡辺貴則先生にご臨席を賜り、同窓生90余名の出席のもと、盛大な会となりました。式典では先輩方に做い記念寄贈品として生徒用下駄箱一学年分(3月に寄贈済み)と学校教育活動基金を贈呈しました。



たいと思います。ちょうど50代の大台に乗る今年クラスの枠を超え、ほとんどの方

が1次会では話し足りず、2次会へ、更には3次会に至るまで、高校時代の秘話?やら卒業後のあれこれ何の利害関係もない者同士、語り合い、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

その一方で、同窓会への参加を希望し、申し込みも済ませていた同じ班だった友人が、同窓会の数日前に亡くなってしまい、会うことが叶わなくなってしまうことは残念でなりません。彼を含め、少なからぬ既に亡くなられた方々を偲び、皆で黙祷を捧げましたが、会いたい懐かしい相手には会っておくべきものだと思つづく思い知らされた同窓会でもありました。

皆さんお体を大切に、次の機会までお元気で、またお会いできる日を楽しみにしています。

(英語科 飯島栄一)



戦没者慰霊祭

二十五年六月二日（日）（毎年六月第一日曜日）
午前十一時より
貞祥寺本堂にて（自由参加）

* 同窓戦没者を追悼し、恒久平和を祈願しましょう。
* 法要後、有志にて昼食懇話会を行います。（会費千円）
護持会会長 井出 公陽

58回卒「太伯会」 卒業50周年記念式典

第58回卒業同窓生「太伯会」は卒業50周年を記念し、母校に「大体育館及び小体育館にそれぞれ暗幕一式」「生物顕微鏡10台」を寄贈しました。

平成24年11月3日（土）佐久市内「佐久グランドホテル」於ける記念式典には、来賓として沼田岳南会長、青柳学校長、新



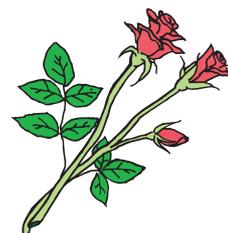
海教頭、渡辺事務長をお迎えし、同窓会員63名出席の下、中田会長より青柳学校長に目録の贈呈が行われました。

第58回卒業同窓生は去る昭和58年、同窓会名を第二応援歌の一節より「太伯会」とし、これまで不定期に親睦会を開催してきました。平成24年1月に開催された新年会の席上、会長は「卒業50周年記念事業」の発案を示し、同年3月より各クラス代表幹事による企画案の具体化が進められ、当日の式典を迎えるに至りました。
式典後北高吹奏楽班によるアトラクションがあり、懇親会では沼田岳南会長のお話に母校の歴史を胸に刻みました。

（茂木 昭彦）

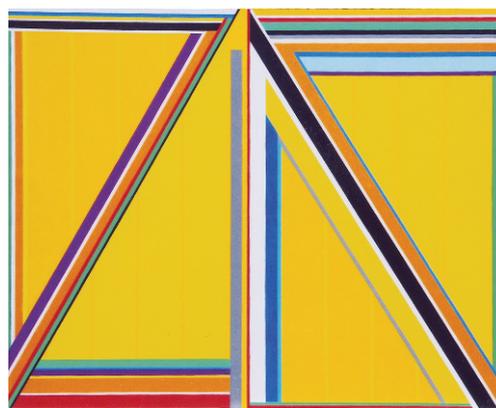


「太伯会」2012年11月3日 於.佐久グランドホテル



中澤高千夫 遺作展

八月十一日〜十六日に野沢会館にて中澤高千夫さん（50回）の遺作展が開かれました。中澤さんは本校を卒業後、東京芸術大学・同大学院で油絵を学び、その後ニューヨークにて抽象画を中心に創作活動をされました。9・11のテロをきっかけに02年に帰国し、佐久市内にて郷里の風景画を描きながら、デッサン・絵画教室を主宰されました。11年2月に急逝された中澤さんを偲んで、本校美術班の同級生の山浦時夫さんが中心



中澤高千夫（寄贈者 中澤静夫人）
「パターン化された動き」黄



遺作展

になつて今回の遺作展が企画されました。初日の十一日より多くの人が訪れ、中澤さんの創作の中心である抽象画、若いころに描いた佐久の風景画などを熱心に鑑賞していました。静夫人は「本人が一生をかけた仕事を皆さんに見ていただく機会をもててうれしい。多くの方、特に若い世代の抽象画理解のきっかけになればと思います。」と話されています。
野沢会館では同期間に例年どおり岳澄展も開催されこちらも100点を超える作品が出品され賑わっていました。
11月、中澤さんの代表作『パターン化された動き』黄は静夫人により本校に寄贈され、現在岳南会館ホールに展示してあります。
（事務局）

クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班

- 野球**
春季大会
vs上田千曲 7対9 1回戦敗退
選手権大会
vs飯山 1対5 2回戦敗退
- 陸上**
男子
県高校総体
110H、400H 小林 涼 2位、3位
5000、3000sc 上原聡太 7位
北信越大会
110H 小林 涼 予15"54 準15"53
女子
県高校総体
やり投げ 高野希恵 37m93 5位
走高飛 山我杏寿実 1m53 3位
駅伝 2時間30分25秒 25位
北信越大会
400H 予57"12
やり投げ 高野希恵 32m10
走高飛 山我杏寿実 1m55 9位
- 剣道**
県高校総体
男子団体 予選リーグ 敗退
女子団体 予選リーグ 敗退
女子個人 由井 沙季 1回戦敗退
- ソフトテニス**
県高校総体
男子団体戦 vs長野日大 2-1
vs上伊那農業 0-2 ベスト16
男子個人戦
柳澤・依田 1回戦敗退
女子個人戦
村上茜・須田桐可 3-4 1回戦敗退
磯貝美穂・市川はづき 0-4 1回戦敗退
- テニス**
県高校総体
男子ダブルス
高橋竜平・山口大輔 2-6 1回戦敗退
- バスケット**
男子
県高校総体
vs駒ヶ根工業 80-46 勝利
vs松商学園 64-54 勝利
vs長野吉田 58-95 敗退 ベスト8
女子
県高校総体
vs長野南 50-60 敗退

- バレーボール**
男子
県高校総体
vs飯田工業 0-2 敗退 1回戦敗退
女子
県高校総体
vs阿智 0-2 敗退 1回戦敗退
- ハンドボール**
男子
県高校総体
vs諏訪清陵 27-22 勝利
vs坂城 22-40 敗退 ベスト8
女子
県高校総体
vs木曾青峰 36-9 勝利
vs屋代 20-12 勝利
vs長野南 21-22 敗退 準優勝
- 卓球**
県高校総体
男子団体
vs大町 3-0 勝利
vs長野高専 3-1 勝利
vs松商学園 0-3 敗退 5位
男子ダブルス
原佳史・柳沢和宏 初戦敗退
男子シングルス
佐々木信悟 2回戦敗退
原佳史 2回戦敗退
柳沢和宏 2回戦敗退
女子ダブルス
大森美暉・風間咲希 初戦敗退
- バドミントン**
県高校総体
男子団体戦
vs松本深志 2-3 2回戦敗退
男子ダブルス
上原・赤羽根組 1-2 1回戦敗退
男子シングルス
上原 1-2 1回戦敗退
赤羽根 1-2 1回戦敗退
- 弓道**
県高校総体
男子団体戦 21中(40射) 予選敗退
男子個人戦
重田 貴行 5中(8射)
女子団体戦 13中(40射) 予選敗退
- 水泳**
男子
県高校総体
100m平泳ぎ
磯田涼太 1:07.06 1位
100m平泳ぎ
高見澤 光 予選落ち
200m平泳ぎ
磯田涼太 2:22.90 2位
200m個人メドレー
井上 峻 予選敗退
400m個人メドレー
井上 峻 予選敗退

母校近況



- 400mリレー
磯田・油井・野中・井上 予選敗退
- 800mリレー
磯田・野中・油井・井上 予選敗退
- 400mメドレーリレー
野中・高見澤・磯田・井上 予選敗退
- 7/20~7/22
100m平泳ぎ
磯田涼太 1:05.45 5位
200m平泳ぎ
磯田涼太 2:22.87 8位
- 女子
県高校総体
100m自由形
寺西里紗 予選敗退
100m背泳ぎ
寺西里紗 予選敗退
- 空手道**
県高校総体
男子個人組手
岡部航大 1回戦敗退
男子個人形
岡部航大 1回戦敗退
女子団体組手
松商学園 0対5 1回戦敗退
女子個人組手
小林理奈 1回戦敗退
松本幸華 1回戦敗退
勝俣啓香 1回戦敗退
女子個人形
小林理奈 0対5 1回戦敗退
- 山岳**
県高校総体 男子登山競技 敗退

文化班

- 将棋**
県大会
男子
団体戦 松本深志 2対1 3位
個人戦 井出洋成 ベスト16
女子
団体戦 岩村田 1対2 3位
個人戦 武居優芽 3位
大井遥香 5位
殿岡新菜 5位
渡邊歩乃佳 5位
- 囲碁**
県大会
男子 個人戦 関拓也 4位

岳南会中高一貫教育研究委員会 経過報告

この国の中等教育に於て中高一貫教育の潮流は強く、児童生徒の進路保障の中核を成している。

本県においても、少子化による県教委の第一期高校再編計画の中で、公立高校に於ける中高一貫教育が具現化され、平成二十四、屋代高校付属中学校は既に新入生を迎え、平成二十六年には諏訪清陵高校付属中学校も開校する。共に、東北信及び中南信地区におけるモデル校であり、平成二十五年以降に策定予定の第二期高校再編計画の中では、東信及び中信にも設置が予想されている。

すべきは、平成二十三年十二月本委員会として、母校校長に要望書を提出、母校における中高一貫教育について、県教委の第二期高校再編計画の策定に向け、時宜を失うことのないよう積極的かつ継続的な研究を進めてほしい旨、お願いした。また、併せて、この制度を導入する場合の主体者として、研究から検討に向けての進捗が追々図られるようお願いし、そのための協力は惜しまない旨、お伝えした。

このように、本委員会は、設置当初から、母校将来構想委員会と連携を密にし、研究を重ねてきたが、この一月、開校九ヶ月の屋代高校付属中学校を合同で視察し、研究を進めることにしている。

(副会長 高見澤俊雄 51回)



平成24年 会務報告(岳南会総会1月5日以降、事務局把握分)

- | | | |
|--|--|--|
| 1月5日(休) 第1回三役会・第1回代議員会
平成24年岳南会総会・佐久グランドホテル・参加者約170名・記念講演(私の幻想絵画について)(51回卒) | 19日(休) P T A三役会で内規に従い岳南塾費決算報告の承認を得た。
佐久町支部総会開催・参加者20名・高見澤副会長・事務局出席 | 25日(出) 第2回代議員会開催
9月26日(休) 第1回役員改選選考委員会 |
| 18日(休) 長野支部総会開催・参加者79名 会長・事務局出席 | 20日(金) 第12回中高一貫教育研究会開催
5月21日(日) 第2回三役会・学校所有林視察
6月2日(出) ①御代田支部総会開催・参加者11名・高見澤副会長・教頭出席
②小諸支部総会開催・参加者20名・会長・校長出席 | 10月1日(月) 第14回中高一貫教育研究会開催
30日(火) 第2回役員改選選考委員会 |
| 29日(日) 中込支部総会開催・参加者22名 会長・事務局出席 | 3日(日) 第12回戦没者慰霊追悼式・約30名参列・会長・白田町支部総会開催・参加者15名 事務局出席 | 11月3日(出) 58回卒「卒業50周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長、教頭、事務局長来賓として出席 |
| 2月25日(出) 南牧支部総会 | 9日(土) 東京岳南会開催・会場は日本教育会館で実施・会長、校長、卒業学年、事務局出席・新会員3名・会員104名参加 | 10日(出) 東支部総会開催・参加者16名・事務局出席 |
| 3月5日(出) 野沢北高校卒業式が挙行され会長・副会長3名が出席 | 6月22日(金) 前山支部総会開催・参加者14名・事務局出席 | 21日(休) 第15回中高一貫教育研究会開催 |
| 10日(出) 白田町支部総会開催・参加者15名 事務局出席 | 17日(日) 桜井支部総会開催・参加者25名・事務局出席 | 12月1日(出) 野沢支部代表者会・同窓職員中田先生出席 |
| 19日(月) 芸術科(同窓会事務局長)薄井稔久先生(69回卒)療養休暇に入り高村和真先生着任 | 30日(土) 岸野支部総会開催・参加者16名・同窓職員金子先生出席 | 4日(火) 岳南会会計監査実施 |
| 20日(金) 第11回中高一貫教育研究会開催 | 7月8日(日) 音楽科保科千夏先生産休育休に入り伊藤渚先生着任 | 12日(休) 第3回三役会開催 |
| 22日(休) 野沢北高教職員送別会が行われ会長・副会長3名が出席 | 20日(金) 第13回中高一貫教育研究会開催 | 17日(月) 岳南会ニュース23号発送(協力金依頼) |
| 30日(金) 八千穂支部総会 | 8月11日(土) 78回卒「卒業30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長来賓として出席 | |
| 4月4日(休) 野沢北高入学式・会長・副会長3名が出席 | 12日(日) 77回卒「卒業30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長来賓として出席 | |
| 8日(日) ①小海町支部総会開催・参加者10名会長・校長・事務局出席
②関西同窓会開催(岳南会・鈴蘭会共同開催)大阪弥生会館、輪番で本年度は南高が担当でした。 | | |
| 11日(休) 野沢北高教職員歓迎会開催・会長・副会長3名出席 | | |

平成25年 今後の会務計画(案)

1. 総会(平成25年1月5日(土))
2. 支部総会
3. 代議員会(1月5日、8月24日)
4. 役員会(3回・・・6月、8月、12月)
5. 岳南会ニュース24号発送(協力金依頼)(12月下旬)
6. 岳南会所有林視察(6月)
7. 岳南会会計監査(12月初旬)

平成24年 岳南会会計決算書

平成23.12.1~24.11.30

収入総額 8,965,095円 支出総額 5,738,024円 差引残高 3,227,071円

【収入の部】

項目	収入決算	備考
入会金	1,452,000	6,000円×242人(入学生)
卒業生終身会費	1,205,000	5,000円×241人(H24年3月卒業生)
総会会費	520,000	5,000円×104人
代議員会等会費	9,000	三役会(2,000円×4人) 会議不参加分返金
岳南会館維持管理費	542,250	750円×723人
岳南会活動協力金	1,882,500	1,000円(1口)×2,066.5口
繰越金	2,763,985	
雑収入	590,360	預金利子、百年史・名簿代金等
合計	8,965,095	

以上、相違ありません。

平成24年12月4日

会計監査 竹内健 (印)
白田善和 (印)
白井正幸 (印)

【支出の部】

項目	支出決算	備考
会報発行費	1,669,585	会報印刷費、封筒、郵送料、会報編集料等
総会費	891,940	会場費、懇親会費、講師謝礼等
会議費	286,173	役員会、代議員会、会計監査等
支部会議費	335,840	祝儀、旅費等
慶弔費	450,878	餞別、香典、卒業証書筒、校章バッジ、花束代
財産管理費	56,226	固定資産税、山林管理等
クラブ等後援費	484,635	全国大会補助、広告料等
進路指導補助費	200,000	
岳南塾補助	500,000	
会館維持費	790,332	会館電気料、会館電話料、会館修理費等
事務費	72,415	会館雑貨、事務用品、ハガキ、封筒、切手等
予備費	0	
合計	5,738,024	

紙面の都合で、平成25年岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

平成二十四年三月の、大学等合格者数は表の通りです。

◎センター試験大幅変更

二〇一二年度大学入試センターは、「地理歴史・公民」等の実施方法で大きな変更がありました。しかし、第一解答科目、第

二解答科目の選定など受験前に今までにない細かな対応を迫られました。

この五年間では一番割合が少なくなっています。学部系統では、教員養成系と「医・歯・薬・保健」の医療系など資格系統に人氣が高まっています。

◎卒業生概況

卒業生二四一名中二二七名がセンター試験に出願し受験しました。卒業生は、国公立と私立大学におよそ三分の一ずつ進学しました。この割合は、ここ四年間だいたい同じです。また、浪人は四分の一です。景気の影響があるのかもしれませんが、こ

今年度も一年生は、キャリア教育の一環として職業観の育成を目的に十一月に同窓生を中心に九名の方に進路講話をお願いしました。また、夏休み明けには一・二年生対象に大学一年生

による進路講話を実施しました。同窓生の方からのメッセージを活かして、一人ひとりの進路が実現できるよう学校全体で進路指導をして参りたいと考えています。

進路指導主事

金子房夫(74回)

大学合格状況(2012.4.2現在)

卒業生数	国公立大学	私立大学	外国大学	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
241	90	241	0	331	3	4	7	7	345
浪	48	167	0	215	1	0	1	0	217
計	138	408	0	546	4	4	8	7	562

国立大学合格者数

大学名	現	過	計
弘前	2		2
東北	5	5	10
山形	1		1
茨城	4		4
筑波	2	3	5
宇都宮		1	1
群馬	6		6
埼玉	2	2	4
千葉	2	2	4
電気通信	1	1	2
東京		1	1
東京外語	1		1
東京海洋		2	2
東京学芸	1		1
東京農工		1	1
横浜国立	3	1	4
上越	2		2
新潟	6	6	12
富山	3	1	4
金沢	5	2	7
山梨	2		2
信州	20	6	26
(教育)	7	1	8
(経済)	1	1	2
(理)	1	2	3
(医)	4	1	5
(工)	4		4
(繊維)	3	1	4
静岡	1	1	2
名古屋		1	1
愛知		1	1
滋賀		1	1
鳥取		1	1
広島		1	1

私立大学合格者数

大学名	現	過	計
法政	12	11	23
中央	9	12	21
日本	3	13	16
東海	10	5	15
明治	5	10	15
立教	6	8	14
立命館	8	5	13
文教	6	7	13
駒澤	8	4	12
東京理	5	7	12
佐久	10	1	11
早稲田	3	8	11
東洋	2	8	10
新潟医療	8	1	9
獨協	4	5	9
工学院	8		8
青山学院	6	2	8
芝浦工	6	2	8
帝京	7		7
北里	3	4	7
東京電機	5	1	6
明星	5	1	6
明治学院	5	1	6
龍谷	3	3	6
高崎健康	5		5
大妻女子	5		5
神奈川	4	1	5
武蔵野	4		4
中京	4		4
國學院	3	1	4
津田塾	3	1	4
武蔵	3	1	4
杏林	2	2	4
慶応義	1	3	4
金沢工		4	4
東京家	3		3
大東文	2	1	3
近畿	2	1	3
国際医療	1	2	3
麻布	1	2	3
関西学	1	2	3
成城		3	3
同志社		3	3
帝京平	2		2
桜美林	2		2
明治薬	2		2
清泉女	2		2
長野	2		2
共立女	1	1	2
上智	1	1	2
東京女	1	1	2
東邦	1	1	2
専修		2	2
長浜		2	2
東北	1		1

群馬	バース	1		1
群馬	医療福祉	1		1
上	武	1		1
東京	福祉	1		1
城	西	1		1
女子	栄養	1		1
東都	医療	1		1
日本	保健医療	1		1
神田	外語	1		1
城西	国際	1		1
明	海	1		1
了	徳寺	1		1
和洋	女子	1		1
学	習院	1		1
国	士	1		1
昭	和	1		1
清	泉女子	1		1
聖	心	1		1
多	摩美	1		1
帝京	科	1		1
東京	有明	1		1
東京	経済	1		1
東京	都	1		1
東京	都	1		1
二	松学	1		1
日本	医療	1		1
立	正	1		1
日	映画	1		1
諏訪	東京	1		1
岐阜	卓	1		1
東海	学	1		1
名	古	1		1
四日	市	1		1
京	都	1		1
関	西	1		1
国	際	1		1
国	立	1		1
順	天	1		1
成	隆	1		1
創	備	1		1
多	摩	1		1
東	京	1		1
星	薬	1		1
武	蔵	1		1
鎌	倉	1		1
新	潟	1		1
岐	阜	1		1
名	城	1		1

私立短大	合格者数
青山学院女子短	2
共立女子短	2
専門学校	合格者数
医療系	4
その他	3

編集後記

「岳南会ニュース23号」を会員のみなさまにお届けできることをうれしく思います。本年度新たに母校に赴任して参りました、「岳南会ニュース」の担当になりました。不慣れな中で多くのみなさんに無理を言ってお稿寄稿をお願いしました。快く引き受けていただいた方々に心より感謝申し上げます。これを手にとっていただいた方々それぞれが、自らの高校生活に思いをはせながら現在の野沢北高と岳南会の活動に関心を持っていただけるといいなと思っております。さらなる紙面の充実に向けて、取り組んでいきたいと思っております。ご意見をお寄せ下さい。

(K)

